

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：21006

学校名：幌西小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均の記録と同記録もしくは上回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・シャトルラン ・ソフトボール投げ ・握力 ・上体起こし ○全国平均の記録より下回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 	<p>全国体力・運動能力の結果を見ると、本校児童は全国平均を下回っている種目が多い。</p> <p>男女ともに50m走、立ち幅跳びなどの瞬発力、柔軟性に課題が見られる。女子は基礎筋力に課題があり、そこを向上すると他の種目への波及効果も期待できる。</p> <p>運動習慣等調査の結果からは男子は、「友達と交流協力できたとき」「友達に認められたとき」、女子は「できないことができるようになるとき」「体を動かしてすっきりするとき」に楽しさを感じるという意見が多い。このことから、三間のうち「仲間」に重点をおいた運動機会を創出する取組が、今年度も必要と考える。</p>
体力・運動能力 <女子>	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均の記録と同記録もしくは上回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール投げ ○全国平均の記録と同記録もしくは下回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・長座体前屈 ・シャトルラン ・50m走 ・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・立ち幅跳び 	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答する子どもの割合 R7 男子 好き83.1% やや好き 6.8% 女子 好き52.6% やや好き 29.5% ・「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R7 男子 96.6% (全国平均94.6%) R7 女子 89.7% (全国平均88.1%) 	

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
--------------	------------------------	------------------------------	------------------------------

具体的な取組	<p><重点>自ら進んで運動に親しむ環境づくりと指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した学習活動の充実と課題探究的な学習の推進 ・振り返りシート等を活用して、課題や目標を明確にした授業を増やす。 ○発達段階に応じて系統性をもたせた体育学習 ・体育部で作成した運動データベースを活用し、ブロックごとに目標や活動内容を明確にする。 ・体育発表会では、全学年がブロックごとに目標を設定し、「ラジオ体操」に取り組む。また、体育発表会の種目について、体づくり運動や表現運動と関連付けることによって、取組の目標を明確にする。 	<p><重点>三間の創出による運動機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「健康ライオンプロジェクト(KLP)」の実施《昨年度の実施例》 ・ラジオ体操、幌西ビクス、8秒チャレンジ、大縄大会、クラス対抗リレー <p>【仲間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間(学級や学年)と一緒に楽しんだり競い合ったりできる運動機会を確保する。 <p>【時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で体を動かす時間を確保するためにKLPに参加する体制を整える。 <p>【空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動週間を設定(器械体操)して、授業以外でも体を動かせる空間を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> ○教師主体から子ども主体へ 委員会活動を通して、子どもが主体となる運動機会を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 健康に対する関心を高める <ul style="list-style-type: none"> ○「保健指導年間計画」を作成し、指導の充実を図る取組を行う。 ○養護教諭による「性に関する指導」を行う。また、「人間尊重の教育」ガイドラインを活用した取組の推進を図る。 (2) 食や健康に関する正しい知識と望ましい生活習慣を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> ○栄養士、養護教諭と連携し、給食の時間や総合的な学習の時間において、食や健康に関する基礎知識を養う。 ○「食に関する指導の手引き」の活用 (3) 安全指導の充実(教職員の事前講習会を開催)
---------------	---	--	---

家庭・地域との連携・協働	<p>学校ホームページによる活動周知の充実/地域人材を活用した体育・総合的な学習の時間の充実</p> <p>教職員の研修を通じた指導の充実/「産婦人科医師及び助産師による講師派遣事業」を活用した保健授業の充実</p>
---------------------	--